



浜崎町で5周年記念セミナー開催！ 『伝建地区の空き家活用×地域活性の未来』

はぎビズ開所
5周年！

新しきを面白がる
浜崎のひみつ

未来への期待を
ディスカッション

はぎビズ開所5周年！



はぎビズは2020年2月に開所し、今年で5周年を迎えました。創業、商品サービス開発、販路拡大などに加えて、この数年では移住創業のご相談が増えていることも特徴的です。拠点を構える浜崎伝建地区では、地元の方々と連携し、地域と创业者の橋渡し役や企業誘致などのサポートに取り組みました。新たなお店の一つ一つの魅力が繋がり、地域として注目を集めるようになりました。そこで、はぎビズでは5月23日に、浜崎町で起きているまちづくりの様子をお伝えするセミナーを開催！会場は旧萩藩御船倉。当日は定員を超える113名の方にお集まりいただきました。オープニングは山口県指定無形民俗文化財「御船謡」の演唱により、特別な風情に包まれて幕を開きましたよ。

新しきを面白がる浜崎町のひみつ

第1部のテーマは「浜崎の今までとこれから」。

はぎビズの獅子野センター長、萩博物館館長の大槻さまとの対談式で、今浜崎が注目される理由について紐解きました。ポイントは「地域性」「守る人」「興す人」の3点です。浜崎は萩の伝建地区で唯一の港町。江戸時代は3つの港があり、様々な物資や情報が行き交っていました。伝建地区の選定をきっかけに、地元の方々による「浜崎しっちょる会」が立ち上がり、文化財保護課の皆さまによってインフラ整備や町的美装化が行われました。毎年大賑わいのお祭り「浜崎伝建おたから博物館」では、歴史あるお家を公開する地域の方と、地域外事業者の出店とで、伝統と新しい文化が調和します。地域おこし協力隊、移住者など外から来た人たちを受け入れ、新しい物事を面白がり、一緒になって盛り上げる。そんな土壌が耕されているところに、はぎビズも迎え入れていただきました。



未来への期待をディスカッション



第2部は、浜崎町で今新たに吹いている風と町づくりと未来への期待を語るパネルディスカッション。まちに深く関わるプレイヤーとして、浜崎しっちょる会の岩崎さま、レストラン「舐子」を営む新井さま、「本と美容室」の書店を担当する瀬木さま。そして、全国の空き家利活用事例を知る文化庁の寺本さま、ビズモデル創始者の小出さまにご登壇いただきました。ファシリテーターは、萩市佐々並ご出身の山本哲也さま。「初めて浜崎に来た時どう感じた？」「どうしてこの町にお店を開こうと思ったのか？」等の問いかけに、リアルな声が飛び交いました。寺本さまは、「無理をしていない、穏やかな暮らしが印象的だった」とのこと。これに頷く新井さまは「浜崎に来てから、幸せや楽しさを求める方に価値観が大きく変わった」瀬木さまは「まちの人との丁度よい距離感が心地良かった」と語られました。伝統とチャレンジが調和しながら無理なく自律している様子を、小出さまは「この町ではぎビズが支援を行うことに大きな可能性を感じる。全国で求められる地域活性化のヒントになるはず」とお話くださいました。

【あげる！はぎビズ】

萩市ビジネスチャレンジサポートセンター

【TEL】090-7130-4520 【MAIL】info@hagibiz.net

【HP】<https://hagibiz.net/info/>

【相談時間】9:00～17:00

【定休日】日曜日、月曜日、祝日、年末年始

〒758-0022 山口県萩市大字浜崎町209番

萩市インキュベーションセンター内

はぎビズHP
ブログで情報発信中♪



はぎビズだより
バックナンバー

